

社会福祉学科			介護福祉 専攻		2年				
科目名: 介護実習 I-②				担当教員 氏名: 宮嶋 潔					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	前期	専門科目	実習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 専任教員が巡回指導を行う。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
多様な場で生活する利用者とその家族とのコミュニケーションを通してサービス機能と利用者像を理解する。					居宅 ホームヘルパー 個別ケア コミュニケーション				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 4. 5. 6. 7				
A 知識・理解力			利用者の生活の場や介護ニーズを理解することができる。訪問介護の仕組みと訪問介護員の生活支援機能を理解することができる。						
B 専門的技術			基本的な生活支援技術を経験することができる。						
F チームワーク・リーダーシップ			訪問介護員の役割を理解することができる。チームケアを知ることができる。						
G 倫理観			利用者の尊厳を守ることができる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	100 %
特記事項: 実習施設評価及び学内評価にて採点します。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 施設評価を個人面談形式で伝達します。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
				日々の記録を振り返る	【予習】30分	【復習】30分			
				↓		↓			
詳細については「実習要綱」に記載									
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版 ISBN978-4-8058-5770-0 C3036 ※1年次購入済 ※「介護実習要綱」2年次配布				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習は利用者の居宅で行われるものなので、十分にそのことを認識して臨んで下さい。									